2018-10-12 Guo Shuxian

<https://www.fmprc.gov.cn/web/fyrbt_673021/dhdw_673027/t1602078.shtml>

**外交部发言人华春莹就美领导人无端指责中国
表明立场**

来源： （供稿） （供稿）    2018-10-05

**问：美国副总统彭斯10月4日晚在智库发表讲话，声称中方干涉美国内政和选举，对中国内外政策进行无端指责。请问你对此有何评论？**

　　答：有关讲话对中国的内外政策进行种种无端指责，诬蔑中方干涉美国内政和选举，纯属捕风捉影、混淆是非、无中生有。中方对此坚决反对。

　　中国人民对中国特色社会主义有高度自信。历史和现实已经证明，这是一条符合中国国情、实现国家富强和人民幸福的成功之路。中国人民对此最有发言权。中国坚定不移推进全面深化改革、扩大对外开放。中国的发展主要靠全体中国人民自身的辛勤努力，同时也得益于我们同世界各国的互利合作，但绝非来自别人的施舍和恩赐。任何人都阻挡不了中国人民沿着中国特色社会主义道路坚定不移地走下去，取得更大成就。任何人想歪曲事实都只能是白费心机。

　　中国始终不渝走和平发展道路，致力于在和平共处五项原则基础上与各国发展友好合作关系，推进构建人类命运共同体。中国始终是世界和平的建设者、全球发展的贡献者、国际秩序的维护者。中国在世界各地的经济和外交活动受到各国普遍欢迎，我们的朋友遍天下。中国绝不以牺牲别国利益为代价发展自己，同时坚定捍卫自己的主权、安全、发展利益。美方把中美之间的正常交流合作说成是中方干涉美国内政和选举是极其荒谬的。中国历来坚持不干涉内政原则，我们也根本没有兴趣去干涉美国的内政和选举。到底是谁动辄侵犯别国主权、干涉别国内政、损害别国利益，国际社会早已看得很清楚。任何对中国的恶意诋毁都是徒劳的。

中国的对美政策是一贯、明确的。我们致力于同美方一道努力，实现不冲突不对抗、相互尊重、合作共赢。我们敦促美方纠正错误，停止对中方的无端指责和诋毁，停止损害中方利益和中美关系，以实际行动维护中美关系健康稳定发展。

<https://www.fmprc.gov.cn/web/fyrbt_673021/dhdw_673027/t1602157.shtml>

**外交部发言人华春莹就美领导人在涉台等问题上
无端指责中国答记者问**

来源： （供稿） （供稿）    2018-10-05

**问：美国副总统彭斯10月4日讲话中还就台湾、南海、人权和宗教等问题对中方进行无端指责、干涉中国内政。中方对此有何评论？**

　　答：世界上只有一个中国，台湾是中国不可分割的一部分。美方根本没有资格对有关国家在一个中国原则基础上同中方发展关系说三道四。“台独”势力及其分裂活动是对台海和平稳定最大的威胁。我们敦促美方切实恪守一个中国原则和中美三个联合公报规定，慎重妥善处理涉台问题，与中方一道反对和遏制“台独”，维护中美关系大局和台海和平稳定。

　　中国对南海诸岛及其附近海域拥有无可争辩的主权。中国在南沙自己的领土上建设必要的国土防御设施，是国际法赋予主权国家的自保权、自卫权，与“军事化”无关。我们敦促美方停止挑事生非、制造紧张，尊重有关当事方通过谈判磋商解决问题的努力。

中国政府高度重视保护和促进人权。中国各族人民依法享有充分的宗教信仰自由。中国的人权状况怎么样，中国人民最有发言权。奉劝美方好好照照镜子，多反省反省自己国内存在的人权问题，而不是利用人权和宗教问题干涉中国内政。

<https://www.fmprc.gov.cn/web/fyrbt_673021/jzhsl_673025/t1603099.shtml>

**2018年10月10日外交部发言人陆慷主持例行记者会**

来源： （供稿） （供稿）    2018-10-10

**问：最近美国领导人多次声称，过去20多年，美国对华贸易产生了巨额逆差，送给了中国大量财富，相当于美国“重建”了中国。中方有何评论？**

　　答：美国领导人的说法把中国的发展成就归功到美国身上，不仅完全不符合事实，逻辑上也根本站不住脚。

　　第一，任何国家的发展从根本上都是靠自己。中国迄今取得的巨大发展成就，靠的是中国共产党的正确领导和中国特色社会主义道路，靠的是坚定不移推进深化改革和扩大开放，靠的是全体中国人民的勤劳和智慧。当然，中国不是关起门来搞建设，而是敞开大门同各国开展互利共赢合作。作为近14亿人口的大国，中国的发展不可能指望别人的施舍和恩赐。恐怕也没有哪个国家有这个实力来“重建”中国！

　　第二，美国对华贸易逆差是多重客观因素共同作用的结果。我们在今年9月发布《关于中美经贸摩擦的事实与中方立场》白皮书中，已对此作了全面的阐述，概括地说，美对华贸易逆差是由中美两国比较优势和国际分工格局决定的。对此美国的经济学家早有公论。中国的对外贸易一向遵循市场规律，做的是公平买卖。美国从中国买的多、向中国卖的少，特别是在向中国出口高附加值产品方面长期自我设限，自然会出现逆差。美方就此指责中方，既不公平、也不合理。

　　第三，中美双边贸易绝非所谓美国向中国输送财富的“单行道”。长期以来，美国从中美经贸合作中获得广泛、巨大的经济利益。根据美中贸易全国委员会等机构估算，中美贸易平均每年为每个美国家庭节省850美元成本。根据中国商务部的统计，2016年美国企业实现在华销售收入约6068亿美元，利润超过390亿美元。德意志银行今年6月发布的研究报告认为，美国实际上在中美双边贸易过程中获得了比中国更多的商业净利益。这些数据和分析都说明，中美经贸合作本质上是互利共赢的。吃亏做买卖的事没人愿意干，更别说长达20多年。

　　我们敦促美方端正心态、尊重事实，停止对中国的无端指责，正确看待中国、中美经贸关系，多做有利于中美两国工商界和消费者的事。

　　**问：据报道，中国外交部副部长孔铉佑、俄罗斯副外长莫尔古洛夫以及朝鲜副外相崔善姬近日在莫斯科举行会谈，就半岛局势进行了磋商。你能否介绍有关情况？三方达成了哪些共识？**

　　答：10月9日，孔铉佑副部长同俄罗斯外交部副部长莫尔古洛夫和朝鲜外务省副相崔善姬在莫斯科就半岛问题举行了对话。

　　根据我目前掌握的情况，这次对话对外释放的一个重要信息是，半岛问题应通过和平的政治外交方式解决。三方对一段时间以来半岛形势出现积极变化表示欢迎，支持朝美对话不断取得进展，支持朝韩持续改善关系，支持有关各方努力推动半岛问题政治解决进程。三方认为，应均衡推进半岛无核化和构建半岛和平机制进程。有关各方应保持对话势头，采取相应措施，相向而行，不断推动半岛和谈取得积极进展，尽早实现半岛和本地区持久和平。

　　**问：据报道，美国领导人昨天称，如果中国继续采取反制措施，美将继续向价值2670亿美元的中国输美产品加征关税。中方对此有何评论？**

　　答：你应该已经无数次听到过中国政府在这个问题上的立场。如果需要我重复，我可以重申一遍，这个立场没有变化。

　　我刚才也说过，中美经贸合作本质上是互利共赢的。我们不认为扩大贸易摩擦、甚至打贸易战符合中美任何一方的利益，这对全球经济也不是一件好事。同时中方维护自身利益的决心也是坚定不移的，任何人对此不要抱有任何幻想。

　　**问：据报道，9日，美国总统特朗普宣布，已接受美常驻联合国代表黑利的辞职申请，可能在未来2至3周任命继任者。中方如何评价黑利在担任美常驻联合国代表期间所做工作以及与中方合作情况？对中美在联合国框架下开展多边合作有何期待？**

　　答：黑利女士担任美国常驻联合国代表期间，同中方在很多问题上保持了对话与合作。中美都是联合国安理会常任理事国，共同肩负着维护和促进国际和平与安全的重要职责。中方愿同美方继续在联合国框架下保持沟通与合作。

<http://wedge.ismedia.jp/articles/-/14113>

**米国と中露のサイバー戦争の行方**

2018年10月12日 岡崎研究所

米国国防総省は9月18日、「サイバー戦略2018」の概要を発表した。その内容は、国防総省のサイトで読むことができる。一部、その要点を紹介する。

・米国の繁栄、自由及び安全保障は、情報への開かれた信頼のおけるアクセスに依拠する。

・デジタル時代の到来は、国防総省や米国に新たな問題も生じさせる。米国や同盟諸国の競争相手達は、サイバー空間を使って技術を盗んだり、政府や財界を欺いたりする。また、我々の民主的手続きや基礎インフラを脅かす。

・我々は、中国及びロシアと長期的戦略的競争関係にある。これらの諸国は、競争をサイバー空間にまで広げたので、米国及び同盟・パートナー諸国にとって、長期的戦略的リスクとなっている。中国は、米国の公共及び民間組織から絶え間なく重要情報を抜き取り、米国の軍事及び経済を浸食している。ロシアは、サイバー空間を使って米国民に影響を与え、民主主義に挑戦している。他にも北朝鮮やイラン等は、同様なやり方で、米国民や米国の利益を害している。このようなサイバー空間の悪用は規模が拡大し、その速度も早くなっている。これは、米国にとって緊急かつ許容できないリスクである。

・国防総省は、米国の軍事的優位及び国益を守るために、毎日のサイバー空間上の競争の対処しなければならない。我々の焦点は、米国の繁栄と安全保障に脅威をもたらす諸国、特に中国及びロシアにあてられる。我々はサイバー空間で作戦を行い、情報を集め、軍事的サイバー能力を高め、危機や紛争でも使用できるようにする。我々はネットワークの安全性と強靭性を高め、軍事的優位を保てるようにする。我々は、省庁間、財界、外国のパートナー達と協力して相互利益を促進する。

・戦時には、米国のサイバー部隊は、陸海空・宇宙の部隊とともに作戦を行い、敵を打つ。統合部隊は、攻撃的サイバー能力も駆使し、あらゆる紛争場面を通じて、サイバー作戦を展開できるようにする。

・「国防総省サイバー戦略2018」は、「国家安全保障戦略」及び「サイバー空間のための国家防衛戦略」に基づくもので、「国防総省サイバー戦略2015」にとって代わる。

・米国は行動しないわけには行かない。我々の価値、経済競争力、軍事力は、毎日危険の増大する脅威にさらされている。

#### サイバー空間における戦略的競争

（1）サイバー空間を含むあらゆる局面で、米軍が闘い勝利をおさめられるようにしなければならない。
（2）米国の基礎インフラに影響を与える悪意のあるサイバー攻撃を抑止、先制攻撃し、負かす。
（3）国防総省は、米国の同盟諸国・友好諸国と協力し、サイバー能力を強化し、双方向の情報共有を増やして、相互利益を促進する。

#### 米軍の優位を可能にする民間アセットを守る

・国防総省は、国防総省が所有者ではない防衛基礎インフラ（DCI）や防衛産業基盤（DIB）のネットワークやシステムを守る必要がある。厳しいサイバー環境においても国防総省の目的が達成されるようにDCIが継続して機能していることが重要である。

#### 戦略的アプローチ

・我々の戦略的アプローチは、次のことを相互に同時並行的に行うことである。

（1）より強力な統合軍の創設
（2）サイバー空間での戦いと抑止
（3）同盟の強化と新たなパートナー
（4）国防総省の改革
（5）能力向上

・サイバー時代の到来は、国防総省及び米国に、新たな機会と挑戦を生む。情報への開かれた信頼のおけるアクセスは、米国及び同盟諸国の利益に不可欠なものである。我々は、それを断固として守ると言うことを、競争相手国は理解すべきである。「国防総省サイバー戦略2018」は、国防総省に対して、上記の戦略的アプローチで、前に出て防御し、毎日の競争に対処し、戦争に備えることを指示している。

参考：Department of Defense ‘Summery Cyber Strategy 2018’ (September 18, 2018)

　今回の「国防総省サイバー戦略2018」は、中国とロシアを名指しして、サイバー空間での相手の攻撃に対して、積極的に、すなわち防御とともに先制攻撃も含め、対処しようという意思を明確に示したものである。昨年末の国家安全保障戦略及び本年の国家防衛戦略でも、対立する大国として中国とロシアが挙げられていた。

　中国は、サイバー空間を通じて、米国の重要な軍事情報や民間の技術情報、更には政府高官の個人情報まで盗取している。トランプ大統領は国連安全保障理事会で、最近、中国は米国の中間選挙に介入しようとしていると釘をさした。ロシアは、2016年の米国大統領選挙に介入したとされ、その事が今回の戦略文書にも明記された。

　上記には、同盟国との連携も述べられている。日米同盟のもと、日本もセイバー・セキュリティーを強化する必要がある。米国も指摘しているように、防衛省や公共部門のみならず、民間との連携も欠かせない。そして防御をするには攻撃方法を知らなければ、効果的な防御策は取れない。サイバー空間に国境はない。緊急な課題であることは、日本も同様である。